

平成19年6月13日

平成19年度学習支援事業（訪問講座）に関する報告

日 時 平成19年5月26日（土）14：50～16：25
場 所 三重県 アスト津 4階アストホール
講演者 東京都杉並区役所危機管理室危機管理対策課長 森田師郎
参加人員 170名

1 講演内容の概要について

「身近な安全・安心の確保について」～今必要な、自助・共助・公助の連携～

身の回りにある危機のいろいろ

自助・共助・公助の識別をしっかりと位置づけしなおそう

小千谷市（新潟市中越地震）の事例から導き出せるもの

- ・ 7割（自助）・2割（共助）・1割（公助）
- ・ しなければならないではなくて、できることからやっ払いこう
- ・ 公のアクションプランは、個人に浸透しないと意味がない

杉並区の実践例

- ・ 各地区による避難所運営マニュアルの作成
- ・ 地元の人材を育てる・・・中学生レスキュー隊
- ・ 自衛消防隊を育て、地域の防災力を高める
- ・ 関係者識別ベストの製作
- ・ 安全パトロールの実施

9.4 水害で得たもの・・・地元民の連携が強くなった

最後に・・・

- ・ ネットワークの重要性
- ・ 自分の身の回りで何ができるのかを考え、実践する
- ・ 自分の身をどう守るのか
- ・ 地域パワーを盛り上げる。もとは情報の共有化

2 受講者からの質問と回答（主なもの）について

意見・感想

- ・内容が盛りだくさんのため、時間が短かった（もっと聞きたかった）。
- ・熱意が感じられ大変良かった。
- ・考えさせられるいい機会になった。また聞きたい。
- ・早口で聞きづらかった。
- ・必要性を再認識した。
- ・大変すばらしかった。

三重県生活部消費生活室

（注）この報告書は、事務担当者が作成したものであり、内閣府国民生活局の正式な見解ではありません。